JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

発行日：2022.12.20 広報専門委員会

2022.12
No.24

K・B通信

キッチン・バス工業会と会員の皆様をつなぐ

広めよう
11月2日は
キッチン・バス
の日

【浜離宮恩賜公園】■江戸時代からの庭園。もともとは徳川将軍家の庭園で、十一代将軍家斉の時代にほぼ現在の姿になった。「中島の御茶屋」がある「潮入（しおいり）の池」は、東京湾の干満に従って水門を開閉し、海水を調節して引き入れている。都内の江戸の庭園としては、唯一現存する海水の池。国の特別名勝及び特別史跡。

CONTENTS

記事名をクリックすると該当ページに飛びます。

■ 巻頭言
『K・B通信』No.24発行にあたり …… 2

■ 工業会情報
2023年度 公式行事 …… 2
2022年度 第1回 会長報告会 …… 3
2022年度 第2回 全員懇談会―第1部、第2部、第3部 …… 4
第1部 議事・特別報告 …… 4
第2部 講演会 …… 5
第3部 懇親会 …… 6
2022年度 第2回懇親ゴルフ会開催！ …… 6
特集／キッチン・バス工業会 松下芳朗 会長 インタビュー … 7
新規会員ご紹介 …… 11
代表者変更のお知らせ …… 12

■ 委員会活動
クリナップ 鹿島アート工場見学（キッチン・洗面技術） … 14
パナソニックエコシステムズ 工場見学（浴室技術） …… 14
東邦ガス みなとアクルス見学（消費者関連・材工課題） … 15
MCエバテック 尼崎分析センター訪問（室内空気環境） … 15
吸い込み口カバー早期交換目指す（ジェット噴流バス啓発） … 16
下水道展での川柳特別募集（川柳事業） …… 16

■ TOPICS
第18回「台所・お風呂の川柳」選考・表彰風景 …… 17

■ 統計情報
2022年度上期 自主出荷統計 …… 20

■ 会員情報
都市対抗、社会人野球大会に会員企業が出場！ …… 21

■ 行政イベント
「住生活月間中央イベント／住まいフェスin北海道」参加 … 21

■ 団体会員情報
第11回「住宅部品点検の日」シンポジウムについて …… 22
「暮らしの未来シンポジウム2022」について …… 22

■ 行政情報
こどもみらい住宅支援事業、申請受付終了、他 …… 23
インボイス制度（適格請求書等保存方式）の概要 …… 25

■ VOICE
秋野顧問弁護士 …… 28

■ 事務局
お知らせ …… 29
編集後記 …… 30

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022

巻頭言

『K・B通信』No.24発行にあたり

平素は、キッチン・バス工業会の活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。今年も11月2日に「キッチン・バスの日」記念「第18回台所・お風呂の川柳」の表彰式を開催いたしました。今回も多くの応募をいただきましたことからも、コロナ禍で家族が集うキッチンやバスに、より関心を持たれた生活者が多数いらっしゃったのだと思います。また、表彰式では受賞者にお越しいただき交流できましたことは大変ありがたく、ご協力いただきました皆様には心から感謝申し上げます。

さて、国内市場においては資材・原料の価格高騰、円安の影響などにより大変厳しい状況がございますが、住設業界に関連する動きとして、令和４年度補正予算案に「こどもエコすまい支援事業」等が盛り込まれたという明るいニュースもございます。この支援事業のメリットを生活者が享受し、業界の更なる活性化につながっていくことを期待しております。

より良い商品を、より多くのお客様にお届けできるように、今後とも会員企業が一丸となり、業界のさらなる発展を目指してまいりましょう。

当工業会並びに会員各社のますますの飛躍を祈念いたしますとともに、引き続き一層のご支援ご協力を賜りますことをお願い申し上げ、本誌の巻頭のご挨拶とさせていただきます。

キッチン・バス工業会 副会長
クリナップ株式会社
代表取締役 社長執行役員
竹内 宏

工業会情報

2023年 公式行事（2022年12月8日現在）

工業会行事日程	行事内容
2023年　1月13日（金）	2023年 新年賀詞交歓会（17:00～19:00） ☆運営諮問会議（15:30～16:30）【東京會舘】
2023年　4月	2023年度 第1回理事会（調整中）
2023年　5月25日（木）	2023年度 定時総会・第1回全員懇談会／懇親パーティ （15:00～16:30／16:45～18:15）【リーガロイヤルホテル東京】
2023年　5月26日（金）	懇親ゴルフ会【相模原ゴルフクラブ】
2023年　9月14日（木）	第2回 全員懇談会／懇親パーティ （14:00～16:00／16:15～18:00）【リーガロイヤルホテル京都】
2023年　9月15日（金）	懇親ゴルフ会【城陽カントリー倶楽部（京都）】
2023年 11月　2日（木）	「キッチン・バスの日」式典 第19回 川柳優秀作品表彰式（14:00～16:00）【日本工業倶楽部】

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

2022年度 第1回 会長報告会

2022年度第1回会長報告会が、9月7日（水）キッチン・バス工業会会議室で開催されました。コロナ禍のため昨年同様に縮小開催とし、常設6委員会、特別委員会の委員長が工業会会議室やオンラインで出席しました。松下会長は工業会会議室にて出席し、会長発案で「カジュアルな服装ではつらつと臨もう」となり、活発な報告会となりました。

会長報告会議事次第

1. 松下会長挨拶
2. 各委員会進捗報告
   (1) 総務委員会（若尾委員長）
   (2) 技術委員会（キッチン・洗面：西岡田委員長）（浴室：行森委員長）
   (3) 調査統計委員会（垣田委員長）（キッチン：小林委員長、洗面：栗林委員長、浴室：和田委員長）
   (4) PL関連委員会（畑委員長）
   (5) 情報化推進委員会（中溝委員長）
   (6) 消費者関連委員会（佐分委員長）
   (7) 中企税特別委員会（酒井委員長）
   (8) こどもみらい住宅支援事業特別委員会（小林委員長）
   (9) 物流課題特別委員会（野村委員長）
   (10) ジェット噴流バス啓発委員会（田村委員長）
3. 事務局報告
   ・第18回「台所・お風呂の川柳」事業経過報告、ほか

松下会長

会長報告会の様子

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

2022年度 第2回 全員懇談会 ― 第1部、第2部、第3部

コロナ禍により、3年ぶりにWeb とリアルの併用開催となった2022年度 第2回 全員懇談会は、松下会長が急きょ都合による欠席となり、代理を竹内副会長が務められました。

リアル64名、Web17名、合計81名が出席され、会員移動、委員会報告、第18回川柳事業、今後の行事日程・その他が報告されました。

【松下会長のメッセージ】

実際に顔を合わせての交流が、工業会の結束に不可欠との思いから、コロナ第7波がまだまだ予断の許されない中ですが、本日こうしてリアルとWebの併用で全員懇談会を実施することとしました。

今回「株式会社WELLNEST HOME」の芝山代表取締役社長、近藤取締役に「持続可能な社会づくりにおける業界の役割と、選ばれる企業になるための社内SDGs」というテーマでご講演いただきます。芝山様、近藤様、よろしくお願いいたします。

また、今回から共栄産業株式会社様、朝日興業株式会社様、株式会社アルティス様が新たに当工業会の会員になられました。

工業会の発展のために、力を合わせ頑張っていきましょう。

最後になりますが、コロナ感染防止については万全を期して、実りある全員懇談会にしていただくように、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

2022年9月15日

キッチン・バス工業会 会長 松下 芳朗

■ 第1部　議事・特別報告

会員移動の件

特別報告

自主出荷統計の概要報告

（キッチン統計専門委員会報告）

（洗面統計専門委員会報告）

（浴室統計専門委員会報告）

情報処理の実態調査に関するアンケート実施について

こどもみらい住宅支援事業特別委員会報告

物流課題特別委員会報告

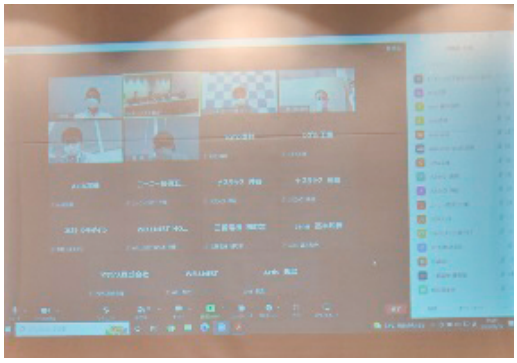
ジェット噴流バス啓発委員会立ち上げについて

第18回川柳事業について

今後の行事日程、その他

会場風景

議長 竹内副会長



Web出席者

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

■ 第2部　講演会

第2回 懇談会終了後、株式会社WELLNEST HOME様より、講演をいただきました。

講師：株式会社 WELLNEST HOME 代表取締役社長 芝山 さゆり 様／取締役 近藤 智 様

持続可能な社会づくりにおける業界の役割

取締役 近藤 智 様

本日はこのような場にお招きいただきありがとうございます。当社は2012年に創業し、17年に、株式会社WELLNEST HOMEに社名変更しました。WELLNESTは、私たちが考えた造語です。「WELL」（良い・満足）：上質な、良いという意味を含み、環境にも配慮し、素材、建材は最高のものを使用し、「NEST」（巣・心地のよい・休む場所）：巣という意味から、家族が居心地よく安心して暮らせる巣こそ、住まいのあるべき形と考えます。社名に、健康で、快適で、上質な巣づくりをお手伝いしたい、との願いを込めています。

私たちが家づくりを学ぶ過程において、日本で高品質だといわれていた家が、ドイツでは建築基準法を満たしていないという現実を知ることからスタートしました。

また、昨今では、地球規模の環境問題に対して、建物の電力使用量削減はCO_2排出削減、つまり建物の冷暖房を減らすことが地球温暖化を解決する大きなカギと考えています。住宅を建てるお客様も、光熱費・メンテナンスだけでなく、エネルギーコストの将来的な価格上昇に関心を持たれています。

当社は北海道ニセコ町で賃貸住宅を手掛け、建物の8部屋

をエアコン4台で室温維持し、電気代も抑えられて入居者に好評いただいています。さらに空調・日差しを自動制御する仕組みを開発し、同地区の地域全体で電力使用を抑える研究を始めています。住宅のCO_2削減が、地域、そして全国に広がれば地球温暖化問題に貢献できると思い、建物から街づくりを通じて、持続可能な社会づくりにおける業界活動に取り組んでいます。

当社は人と接することでSDGs達成を目指す

代表取締役社長 芝山 さゆり 様

2007年に当社創業者がドイツを視察し、家の燃費を計算するシステム（エネルギーパス）を輸入し、性能のいい家づくりを目指して日本での普及を目的に仕事の合間を縫って、講演活動をしてまいりました。

17年の社名変更を機に創業者より社長交代し、女性・母親目線に立って社会に発信しています。

持続可能な社会づくりのため、創業者はエアコン1台で温度・湿度が一定になるハードな部分を作りました。私はそのハードをより生かすために、人の暮らしのあるソフト面で、人に向き合うことを大事にしています。自分の肌で感動いただいたものが購買決定になると考え、家を建てる8割のお客様にモデルハウスで無料宿泊していただいております。

購入後も持続可能な社会では、アフターメンテナンスも考えなければなりません。事業が持続可能でないとお客様に

フォローし続けることはできません。この課題に当社では毎年住宅をバージョンアップしています。

実は私は自社の住宅に住んでいます。それ以前は風呂のカ

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

ビに悩まされましたが、今は温度・湿度が一定で、掃除も3カ月に1回になりました。子どものお弁当で毎朝5時起床でしたが、一番辛かった寒暖のストレスもありません。

私は常々、自然と耳に入る「聞く」ではなく、傾聴の「聴く」、心の目で「聴く」ことを大事にし、次のことをしています。

・新入社員に、「夢のマイホーム」を買いに来るお客様に我々社員が夢を持っていないのはおかしいと伝えています。社員に目標を必ず聴いています。
・3カ月に1回社員面談をしています。母親が子どもを一番に考えるのと同様、家族・子どもである社員のモチベーション維持のため愛を持って接しています。
・全てのお客様に直接電話をします。社員とコミュニケーションエラーを起こしてしまうとトラブルになりますので、私の携帯電話番号を伝え、何かあった時に電話をくださいと伝え、ご安心いただいています。
・社員が「この会社に入社してよかった」「骨を埋めて頑張る」ことを維持することが会社の成長につながります。退社されては持続可能ではありません。

よく「我々の会社の何がSDGsか」といった質問があり、創業者の思いを聴いてくださいと答えています。創業者の思いを聴かずして、SDGsで何をすればよいかと質問するのはおかしいと思います。社会にとって必要なものは必ず残り、必要でなければ淘汰されます。

当社も一人でも多くお客様に愛され、できる限りお客様に近い距離でお客様目線を忘れずにこれからも事業継続したいと思っています。住宅設備機器は住宅とは切っても切れない関係かと思いますので、引き続き当社の活動に興味を持っていただけたらと思います。本日はありがとうございました。

■ 第3部　懇親会

司会
田中 部長

乾杯
竹内 副会長

中締め
丸一株式会社 冨岡 社長

間隔をとり、出席者間にパーティションを置き、
着座で行われた懇親会

2022年度 第2回 懇親ゴルフ会開催！

全員懇談会の翌日9月16日（金）、秋晴れのもと、関西の名門コースである城陽カントリー倶楽部に、総勢26名の腕自慢が集合されました。

城陽カントリー倶楽部は難コースでも知られていますが、本懇親ゴルフ会の前週に開催された女子プロのトーナメント用にコースが設定されていたために、深いラフ、速いグリーンなど、さらにその難易度は高かったようです。それでも参加された皆様は、日頃の腕試しとばかりに、果敢に挑まれました。

また今回は新たに参加された方が10名もいらっしゃいましたが、皆様和気あいあいと懇親ゴルフ会を楽しまれたことが何よりの成果だったと感じております。

城陽カントリー倶楽部にて

次回の2023年第1回懇親ゴルフは、5月26日（金）相模原ゴルフクラブ（神奈川）にて開催致します。皆様、奮ってご参加ください。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

特集

キッチン・バス工業会 松下芳朗 会長 インタビュー（令和4年9月27日 日本工業倶楽部にて）

会　長　松下 芳朗（パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 常務執行役員 水廻りシステム事業部長）
聞き手　越道 昭徳（キッチン・バス工業会 常務理事）

松下 会長（右端）
越道 常務理事（左端）

会長に就任されて

越道　5月の定時総会で当工業会の会長に就任され、約4カ月が経過しました。改めて会長に就かれた抱負をお聞かせください。

松下　工業会の会長が決まり、どのように自分の考えをまとめていこうかなと思ったときに、松下幸之助さんもずっと言われている「第一の目的をきっちりと達成すること」が使命じゃないかなと感じています。住環境における豊かな生活と安全な社会の醸成を皆様のお力を借りながら、少しでもそこを達成するために会長の職を頑張ろうと思いました。

コロナ禍に伴う生活様式の変容

越道　コロナ禍で我々の暮らしが変化しています。社会全般において、いわゆるニューノーマルでいろいろなことが試され施策となることが多くあります。工業会でも定時総会、全員懇談会、委員会をリアルとWebの併用開催にするなどしていますが、どうお考えでしょうか。

松下　コロナ禍の環境下になって住宅設備に対する依存度が高くなってきていると思います。だからプレゼンスをきっちり発揮していかないとダメなんだろうなと感じています。例えば在宅が増えて家で料理をされる方が多くなってくると、キッチンをどれだけ使いやすいものにしていくかとか、安全性の高いものにしていくかというところもポイントになってきます。洗面化粧台においては家に帰ってきて手洗いの習慣がきちんとでき、抗菌とか抗ウイルスという対策も必要になってきます。お風呂に関してはリフレッシュする空間としての重要性というのがすごく高まってきました。

コロナ禍でいろいろ生活様式が変わりましたが、住宅設備としての役割はすごく上がってきたのかなと。安全な生活、安全な社会を醸成するための住宅設備のあり方をもう一度見直して行く必要があると思っています。

越道　コロナ禍による変化への対応ですね。

松下　営業活動的なところでいくと、我々の商品というのはやはり体感してもらって、自分の生活様式に合うかどうかというところを見極めてもらうものです。消費者それぞれのソリューション――家や生活に対して、こういうところを改善したい、こういうところを直したいということがあるはずです。それを本当は体感しながら検討していきたいと思っても、ショールームで体感せずに買ってしまって、自分の生活に合わなかったということが起こりえます。コロナ禍になって、そこのプロセスが少し簡略化されてきているのかなというのがありますね。Webなどを活用しながら、いかに以前の状態に近づけていくという努力が我々としては必要なのかなと思っております。

越道　コロナ禍の前は、ショールームは非常に重要な営業ポイントとして位置づけられていたと思います。反面、ショールームの滞在時間が長すぎて、なかなか商談が進まず、1人のお客様に時間がかかってしまうという課題もありました。コロナ禍になってリアルでショールームに行けないなかで、バーチャルでの対応などいろいろ会員は工夫されていると思いますが、そのあたりはどうですか。

松下　なかなかリアルに対面でお話しできないということからお客様にWebを使ってバーチャルで商品を見て大体のイ

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

松下 会長

メージを作ってからショールームへお越しいただくという方法で、各社とも時間を削減されていると思います。在宅が多くWebで調べる時間があるので、消費者の方もSNSを使っていろんな情報が取りやすくなっています。それらを見て自分のイメージを作られて来られる方が多いので、それに対応したメーカーとしてのインフラの持ち方が重要です。

越道　お客様が大量の情報を得た結果、メーカーに対する要望が厳しくなってきていると思います。あの会社の商品はこうだったけど、お宅の商品はどうなのかのような。ショールーム担当者の対応というのが結構難しくなってきているのかもしれません。

松下　でも本来、住宅設備というのはそうやって選ばれるべきで、納得して買っていただかないとだめですから、ショールームでこんな質問を受けたけど答えられなかったといったときに、それを先輩に聞いたり、次に活かすということで勉強していくと思うので、私はすごくいいことだと思っています。

越道　そういった点の社員教育についてはどうお考えですか。

松下　細かなことを聞かれるお客様が多くなったことと、リフォームのレベルも今まで水回りだけだったのが、リビング空間、寝室、勉強部屋、外装までやられるお客様が多くなってきたと思います。ショールーム担当者はキッチンだけを説明するだけでなく、住空間全体を提案して、家全体でお客様に価値を見いだしていただけることを今後勉強していくことが必要ではないでしょうか。

越道　お客様の満足度を高め、いかに納得して買ってもらえるかというところですね。

松下　そうですね。納得度でいくと、やはり接客回数や接点回数が多いお客様の納得度が高い傾向にあります。

在社勤務と在宅勤務

越道　在宅勤務が会員企業のなかでも増えていると思いますが、それについてはどうでしょうか。

松下　私は社会に出て25年ぐらいになりますが、まさか在宅で仕事ができるとは思っていませんでしたが、意外にやってみると効率的なところもあると感じています。例えば会議で今までだったらリアルでやっていても正直半分ぐらいの人が聞いていない。発言もしない人もいましたが、リアルに対面しての大きな会議ではなくて、テレワークで場所を選ばず打ち合わせレベルのものを何度も重ねることで仕事の効率が上がるところもあるんだなと思いました。

ただ若い社員たちにとっては、悩みをぶつけて指示を仰いで勉強していくには在宅はしんどいのかもしれません。だから今、私が出している方針は、上司はもう会社に来なくていいと、若い社員が来ると言った時だけその上司は出て来いと。若い社員にテーマを与えると家で考えますという人がいますが、考えるのは会社に出て考えて、悩んだら直ぐに相談すればいいのです。

越道　使い分けですね。

松下　在宅勤務は確かに効率的なところがあります。デメリットとして教育や意思統一において、特に若い社員に対してはリアルの方が良いのかなというところはあります。若い社員はまだ仕事を熟知していないので、これは家でしたほうが効率的なのか会社でしたほうが効率的なのかが分からない。だから出て来て聞いた方が進むこともあるので、そういう働きがけが必要です。

2050年のカーボンニュートラルの実現

越道　脱炭素社会ということで、2050年のカーボンニュートラルに向けて日本はまっしぐらです。そのなかでいろいろやるべき施策も出てきています。デジタルトランスフォーメーション（以下DX）や、グリーントランスフォーメーション（以下GX）などがその例かと思います。DXはビジネス界では結構浸透してきています。次のステップがGXだということで盛んに行政の方も言い出しました。一方で住宅設備業界にもロシアのウクライナ侵攻や、上海のロックダウンとかの余波がすでに押し寄せてきています。そのあたりについて所感をお聞かせいただけますか。

松下　コロナ禍で工業会会員企業が今一番大変なのは、今までにないぐらい材料が高騰していることだと思います。材料高騰が今の環境のなかで一番の懸念事項になってきています。社会情勢に応じて工業会として対応していかないといけないと思います。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

GXですが、実はこの業界はすごく進化は遅いかもしれませんが、着実に変えていくべき業界だと思います。きっちりと歩み、確実にやりきっていかないといけないと思っています。この業界は木も使いますし、廃材も出ます。また陶器などを作るときにはCO_2も出ます。それをゼロにするというわけにはいかないので、着実に10%、20%と下げていくということをしていきながら、生活の質を落とさないように住宅設備をきちんと作っていけばいいと思っています。物流や、廃棄物の問題、梱包材の問題、回収やリサイクルも含めてやっていかなくてはなりません。

住宅設備業界の果たす役割

越道　業界の果たすべき役割をお聞かせ願えますか。

松下　デジタル化もしてバーチャル的なところもやっていきながら、でも嗜好性の高いものなので接点を少しずつ変えていく。環境に配慮して少しずつ省エネしていくということが正しいのかなと。それを全会員一緒に地道ではありますけど、キッチン・バス工業会としての着実な目標があって、そこをみんなでやりきっていかないと業界としてはだめなのかなという気はします。

私は海外も長かったので、いろんな海外メーカーを見てきたなかで、やはり日本の住宅設備というのはすごく優れているなと実感しています。業界として豊かで安全な生活を守るために、みんなで基準づくりや、何かあったときはきちんとリコールして、真摯に対応していくということをしてきています。そこを守っていくべきなのかなと。そこが日本の良さであったり、日本の住宅設備の良さだと思います。

越道　机上の空論ではなくて、それを具体的にどう実践して行くかというところが、会長の腕の見せ所でしょう。

松下　海外メーカーが入ってきたときに、基準に合ってないものはキッチン・バス工業会として認めないみたいな話をするための、環境に対しての基準づくりをして、それを関係各所にきちんと訴えていく必要もあります。キッチン・バス工業会が1965年（昭和40年）設立から57年間ずっとやってきて、これだけ良い物を作ってきてるということを、もっともっとアピールしていくべきでしょうね。

台所・お風呂の川柳事業

越道　当工業会が2005年（平成17年）の創立40周年記念事業として始めた「台所・お風呂の川柳」は今年で第18回を迎えました。この事業に対するお考えや、川柳そのものに対する興味といったものをぜひお聞かせください。

越道 常務理事

松下　川柳というのは世相を反映しているんだなというのはすごく感じています。去年から川柳選考委員をやらせていただいておりますが、去年と今年は全然違っていまして、去年はコロナ禍の規制が厳しく在宅在宅と言われて、お取り寄せであるとか、家で頑張って物を作ろうみたいな話でしたが、今年の作品はちょっと発展していて、外に出たシーンとか、少し元気になってきているんだなという印象です。

越道　事業に対するお考えはどうでしょう。

松下　「キッチン・バスの日」の制定は、住環境、住宅設備をきっちり見直しましょうというところに目的がありました。

そんななかでのイベントとしてはすごく価値があります。住宅設備というのは本当は豊かで安全に生活するためになくてはならないものです。しかし、存在感が薄いのが実情です。存在感を高めるために川柳事業はすごくいいのではないでしょうか。啓発活動としてやり続けていくべきです。

これまでの経歴

越道　会長ご自身のことについて少しお話を伺います。

松下　1993年（平成5年）に旧松下電工株式会社に入り、住宅設備関係の研究所に勤務しておりました。一番よくやっていたのは機構系の開発、今でいうソフトダウンの機構や電動昇降の機構を開発したり、当社のトイレ設備で回転する排水トラップの開発をやっていました。それから事業側にきて水回りの今でいうキッチンバスの事業部にいきまして、そこで責任者として、新しい商品の開発をしてまいりました。それで約15年ぐらいトータルでやらせていただいた後に、海外に出て海外の事業企画及び営業部門のマネージメントや、海外展開への検討をしたり、工場長をしたりと、約9年ぐらい担当し、また水回りに戻ってきたという状況です。ですから開発から事業企画、営業、工場の製造系まで、全てやらせていただいて非常

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

によかったな、恵まれているなというのが感想です。

越道　海外はどちらに行かれましたか。

松下　中国がメインでしたが、アジア、ヨーロッパも担当していました。

越道　駐在はやはり中国が多かったですか。

松下　上海には3年行っていました。ロックダウンされる前に帰ってきてよかったなと。帰国は2020年8月。前年の12月武漢でコロナが流行り、ダイヤモンドプリンセス号が2020年2月に横浜で検疫を受ける事態となり、ぎりぎりのタイミングで帰国できました。

越道　海外勤務を長くされていたなかで楽しいこと、辛いこと、たくさんあったと思いますが…。

松下　海外事業開発をして感じたのは、住宅設備というのは土着の文化とか生活様式に直結するものです。衛生陶器は絶対必要なものなのでトイレは展開できますが、お風呂やキッチンは展開しにくいものです。海外担当の時は30カ国以上を調査させていただいたので、いろんな見識が持ててよかったなと思います。

越道　すごいですね、30カ国ですか。

松下　ヨーロッパ、アメリカ、南米も行きましたね。コロンビアも行きました。やはり日本の住宅設備が一番いいなと感じました。海外の浴室は排水が悪く床が水で濡れてビシャビシャになったり、寒くてお湯はちゃんと出なくてシャワーも使えない。床は滑って危ない。ユニットバスという日本の文化がなぜうまく世界に出ていけないのかなというのがありました。

越道　何かのきっかけなんですかね、こういうのって。

松下　私のなかでは答えは出ているんです。工業化という観点をやはり国主導であったりとか、業界主導でできていないところが一番です。だから工業化してモジュールをきっちり決め込まないと。海外ではお風呂・トイレはリビングやキッチンを作った後に作るから、L字になっていたり、斜めになっていたりが多いんです。そういうところって工業化できないんです。

越道　そこですよね確かに。

松下　空間を工業化する、そういう発想にならないんだと思うんですよ。日本の高度成長期に住宅が足りなくて、国と業界が一緒になってモジュール化をしたというのがやはり日本の良さで、そこから波及して快適なお風呂が出来上がった。それで進化しながら今はヒートショックで亡くなる方も少なくなったりとか、ジェットバスとか快適なものができたりとか、水漏れしにくかったり、カビが生えにくい空間ができたのはたぶん日本だけだと思うんですよ。

越道　なるほど。すごくよく分かりますそのお話。

松下　いやでも本当、日本の設備はいいですよ。

キッチン・バス工業会に期待されること

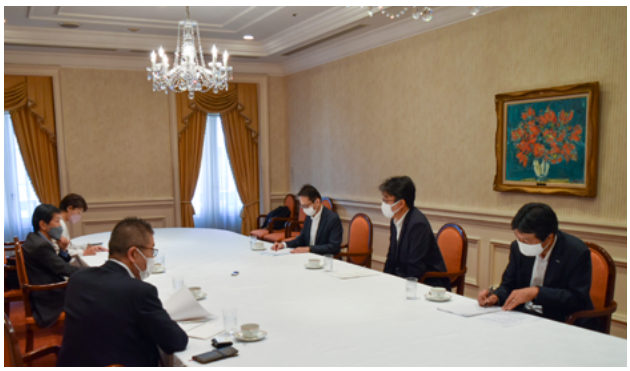
越道　今後、工業会に期待されることは何かございますか。

松下　本当にこの1、2年というのはすごく市場環境が悪くなり激動しました。資材高騰もあったり、ウクライナの問題もあったり、ニューノーマルで生活様式も変わったり、いろいろなことが起きましたから、業界として一つになることが求められると思います。

きっちりと団結して底上げしていくためには、一つの企業だけではなく、きちんとした対価をいただくような仕組みづくりをしていくとかですね。元請け業者であったり、物流業者に対してもきっちりそういうことを業界として訴えていく。いろいろな会社のいろいろな意見から基準を作っていき、業界の指針を作っていく、判断軸を作っていくというのがすごく大切です。この業界として、世間から安く買い叩かれたりとか、海外から粗悪なものが入ってきたりとか、そういうことで変な事故が起きたりとかということがないようにしないといけないなというのがまず前提にあります。

業界として一致団結していく、プレゼンスを上げていく、プライオリティーを高めていくということが大切だと思います。そういうコミュニケーションを取れるような場を作っていくのも大切ですね。

越道　そのための手段として、試行錯誤して行くべきであるということですかね。本日はありがとうございました。



インタビュー風景

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

新規会員ご紹介 ※社名・団体名五十音順

ASAHI INDUSTRY CO.,LTD

朝日興業株式会社

代表取締役社長　森　良二
（もり りょうじ）

本 社 所 在 地 ： 岐阜県大垣市長松町848の1
主な取扱品目 ： 各種ポンプの設計・生産、金型治工具（自動車部品プレス用、家電機器用、その他一般）
ホームページ ： http://asahikogyo.co.jp

この度、ジェット噴流バス協議会の解散、啓発委員会への移行に伴い、キッチン・バス工業会に入会させていただきました「朝日興業株式会社」と申します。

弊社は「水の都」と呼ばれている岐阜県大垣市に工場を構え、水を流体とする小型ポンプの設計・生産をしている回転機部と、自動車用プレス金型の設計・製造をしている工機部の2部門にて成り立っております。

1948年の創業以来、長年にわたりお客様のニーズに応える品質保証、製品開発を行っており、多品種・小ロットの生産にも対応しております。

キッチン・バス工業会の会員として、皆様と共に工業会の発展に貢献できるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Artis
QUALITY BATH LIFE

株式会社アルティス

代表取締役社長　國京 由季央
（くにきょう ゆきお）

本 社 所 在 地 ： 東京都港区六本木3-16-33青葉六本木ビル ANNEX 2F
主な取扱品目 ： アクリル製浴槽　バスタブ
ホームページ ： https://www.artis.jp

この度、キッチン・バス工業会に入会させていただきました「株式会社アルティス」と申します。

弊社は、70年近く住宅設備機器やタイルの販売と施工を行うアベルコが、確かな品質・丁寧な施工・自由なバス空間として和魂洋才の新たな入浴文化を提案するために始めた、アクリル製のバスタブメーカーです。その後2019年に株式会社アルティスとして分社化いたしました。

Artisは「入浴を“寛ぎの頂点”へ高めること」を使命として掲げ、暮らしの中に寛ぎを求める人々のバスルームで過ごす時間を、もっと華やかに、自由なものへと進化・発展させていくことに全身全霊で挑戦し続けます。

キッチン・バス工業会会員の皆様と共に、工業会の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

新規会員ご紹介 ※社名・団体名五十音順

Kyoei 共栄産業株式会社

共栄産業株式会社
代表取締役　藤中 剛弘
（ふじなか よしひろ）

本社所在地：奈良県五條市原町271
拠点：なら工業団地テクノパーク工場、橿原物流センター、上市工場、大淀倉庫
ホームページ：http://kyoei-industry.com

この度、キッチン・バス工業会に入会いたしました「共栄産業株式会社」と申します。

システムキッチン・洗面化粧台の製造を生業としています。

弊社は1965年に創業し、今期で59期目になります。人間に例えると還暦を迎えようとしている段階ですが、初代の経営基本方針の「高い製造力での物作り」「小回りがきく物作り」「高い品質レベルの物作り」「地域社会に配慮した物作り」を引き継ぎながら、2代目としてその考えを礎にし、「情熱」「創意工夫」「思いやり」という理念を掲げ勇往邁進しております。

弊社の強みは「多品種・小ロット生産」「生産から配送の一括管理をすることで短納期生産の実現」、特に昨今のキーワードであります2つのウイルス（COVID、ランサムウェア）の対策においては「日本一安心安全な工場」を経験から自負しております。

キッチン・バス工業会の一員として皆様と共に業界の発展に貢献できるよう精進してまいりますのでよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

代表者変更のお知らせ ※社名・団体名五十音順

AICA 住まい空間を演出する

アイカ工業株式会社
代表取締役 社長執行役員
海老原 健治
（えびはら けんじ）

この度、2022年4月1日付で、アイカ工業株式会社の代表取締役 社長執行役員に就任いたしました海老原健治でございます。

平素よりキッチン・バス工業会会員各社の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、メラミン化粧板やメラミン不燃化粧板「セラール」、高級人造石「フィオレストーン」などの建築素材から、接着剤、機能材料などの樹脂製品まで、暮らしを支える素材を提供しております。当社の強みである「化学」と「デザイン」の力を活用し、豊かな社会の実現に貢献する独創性のある商品をつくり出すことで持続的に成長することを目指しています。

キッチン・バス工業会の一員として、工業会の発展に向けて貢献できるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人 インテリア産業協会 JAPAN INTERIOR INDUSTRY ASSOCIATION

公益社団法人インテリア産業協会
専務理事
市川 祐次
（いちかわ ゆうじ）

この度、キッチン・バス工業会の弊会代表に就任いたしました市川でございます。平素は会員の皆様に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

インテリア産業協会は、公益法人に移行して10年が経ちました。来年は設立40周年を迎え、主催するキッチンスペシャリスト資格認定試験は36回目を数えます。

キッチンスペシャリストは、リノベーションなどストック市場でも十分に活躍できる基礎知識を持つ資格ですが、加えて社会構造の変化や社会的課題、新型コロナウイルス感染症拡大により生じた新たな価値観に応える提案ができるよう、従来にも増して研修事業に注力しているところです。

「時代が求める資格者」の育成を通じてキッチン・バス工業会のますますの発展に寄与できるよう取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

代表者変更のお知らせ ※社名・団体名五十音順

関西電力 power with heart

関西電力株式会社
ソリューション本部 副本部長
井内 達彦
（いうち たつひこ）

この度、キッチン・バス工業会の弊社代表に就任いたしました井内でございます。平素は会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、「お客さまや社会に寄り添い、お客さまとともに幸せな未来を創る」という使命を果たすべく、これからもエネルギーと住宅設備をカスタマイズしたサービスや暮らし周りのサービス等を開発し、お客様の暮らしに「安心・快適・便利・おトク・楽しさ」を提供してまいります。

今後とも、キッチン・バス工業会のますますの発展に向け精一杯取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

住友精化株式会社

住友精化株式会社
取締役常務執行役員（機能マテリアル部門統括）
村越 傑
（むらこし まさる）

この度、キッチン・バス工業会の弊社代表に就任しました村越でございます。

平素より会員各社の皆様には、弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社製品フローセンUF（微粉末ポリエチレン）は、弊社千葉工場（千葉県八千代市）で製造し、水回り住宅設備の原料となるSMC/BMCの低収縮剤・表面平滑性の向上剤としてご使用いただいております。フローセンUFは、色相と異物管理に優れ、また、ロット間のバラツキが少なく、市場から高い評価をいただいております。引き続き安定供給と品質管理に取り組んでいく所存です。

キッチン・バス工業会のますますの発展に寄与できるよう、今後も精一杯取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Pure Freude an Wasser GROHE

グローエジャパン株式会社
代表取締役社長
厚川 大介
（あつかわ だいすけ）

この度、グローエジャパン株式会社の代表取締役社長に就任いたしました厚川大介でございます。

平素は会員各社の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

グローエは、およそ150カ国での販売実績がある水まわりの設備を提供するグローバルブランドで、とりわけ欧州市場でNo.1の地位を確立した水まわり製品のリーディングカンパニーでもあります。ブランド価値であるQUALITY、TECHNOLOGY、DESIGN、SUSTAINABILITYを通し、日本市場でもお客様に素晴らしい経験をお届けできるよう努力していく所存でございます。

COVID-19、原材料高騰、急激な為替変動など引き続き厳しい事業環境ではありますが、キッチン・バス工業会のますますの発展に向け、微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

委員会活動

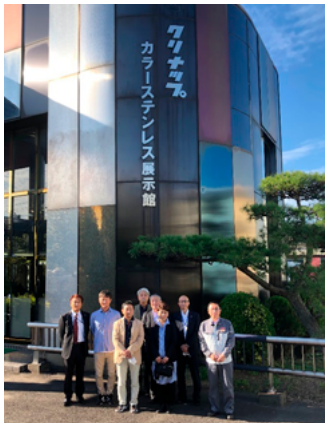
クリナップ 鹿島アート工場様見学について（2022年10月21日）

キッチン・洗面技術専門委員会 委員長 西岡田 浩章（タカラスタンダード）

コロナ禍の影響で、3年ぶりの開催となったキッチン・洗面専門委員会の移動委員会ですが、業界を代表するクリナップ株式会社の100%出資会社である株式会社クリナップステンレス加工センターの鹿島アート工場様へ訪問させていただきました。鹿島アート工場はステンレス材の発色技術を用いた建材の製造工場ですが、キッチン用ステンレス扉も製造しており、参加メンバーは訪問前より大変興味深い見学になるであろうと期待していました。

ステンレス発色技術を用いた扉を使用したシステムキッチン（モックアップ）

当日は工場敷地内のカラーステンレス展示館にて、菅波工場長よりステンレスの発色技術（原理、製造方法、特性）やこの技術を用いた展示品について大変丁寧な説明をいただきました。単なる発色ではなくエッチング、研磨、印刷を組み合わせることでデザイン性を高めたものが様々展示されていました。甲子園球場のバックネット、エレベーター用内外装材、車用マフラー、日本画等々、光の条件で神秘的な印象へ変化するキッチンは大変すばらしいデザインでした。長年培ってきた製造技術や創意工夫で成し得たものを短い時間でしたが、共有できたことをうれしく思いました。



鹿島アート工場の説明者と委員との集合写真

パナソニックエコシステムズ様の工場を見学させていただきました（2022年10月28日）

浴室技術専門委員会 委員長 行森 直志（トクラス）

浴室技術専門委員会では3年ぶりの移動委員会を開催し、パナソニックエコシステムズ株式会社（愛知県春日井市）の工場を見学させていただきました。

同社は、パナソニックグループの「空質空調」に関わる商品の開発製造を行っており、創業会社でもある前身企業の川北電気企業社では、何と1913年に国産初の量産型交流扇風機の量産を開始した100年以上の歴史を持つ企業であるとの説明を受け、会場からは感嘆の声が漏れ聞こえてきました。

工場見学では主に送風機の工程を見学させていただきました。同社の製品の内製率は非常に高く、殆どの部品の樹脂成型、金属加工、塗装などはもちろんのこと、モーターの製造も工場内で行っており、また、加工工程では殆どの工程が自動化されているなど、同社の技術力の高さと幅広さを目の当たりにしました。見学の後半は体験型のSRで様々な商品や技術の紹介をいただきました。モーターの効率を“体力差”で実感できる展示など、参加者一同楽しみながら同社への理解を深めることができました。

最後に、工場見学やSRの説明、会議室の準備など、ご対応いただいた同社の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

パナソニックエコシステムズ㈱の工場外観

移動委員会参加者の集合写真

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

2委員会合同移動委員会で東邦ガス株式会社様「みなとアクルス」を見学(2022年11月18日～19日)

消費者関連委員会 委員長　佐分 裕明(トクラス)
材工課題専門委員会 委員長　堀川 智幹(長府製作所)

11月18日(金)～19日(土)2日間、2委員会合同の移動委員会を実施しました。

■ 東邦ガスリベナスショールーム見学

「みなとアクルス」の視察に先立ち、東邦ガスリベナスショールーム(今池)にお伺いしました。リベナス今池では2022年3月にリニューアルオープンを行い、新たに「デジタル体験」「空間体験」を可能とするショールームとして生まれ変わり、リアルとデジタルを融合とした商談の場としてお客様にご活用されております。キッチンやリビングのVR空間内を歩ける「デジタル体験」やリノベートラボとして模型を配置した住宅レイアウトを体感できる「空間体験」など、体験を通じて理想の空間を見つけることができます。

■「みなとアクルス」「プロ厨房オイシス」見学

「みなとアクルス」では、モニターを見ながらの解説で「人と環境と地域のつながりを育むまち」を開発コンセプトとした都市開発計画での環境への配慮、防災機能の強化、交流の創出といった課題への取り組みを具現化した“まち”を体感することができました。

次に、体験型業務用厨房ショールーム「プロ厨房オイシス」にて、ガス機器と電気機器の違いを体感する実験ラボや、調理器具からの輻射熱を抑えかつ集中排気で快適・安全な調理空間を実現する“涼厨”の体験室を見学し、最新厨房機器とともに衛生管理システムやレイアウトシミュレーションといった厨房全体の提案活動を見学しました。

■ 伊勢神宮参拝

翌日19日(土)は、キッチン・バス工業会と全委員会の今後の発展を祈願するため伊勢神宮に参拝してきました。伊勢神宮は「神宮(じんぐう)」「お伊勢さん」と親しまれ、2000年の歴史を有する日本人の「心のふるさと」です。神聖な場所で心も体も清められ、キッチン・バス工業会の更なる発展のため新たな気持ちで委員会活動に励んでいく決意ができました。

リノベートラボ

オイシスにて

株式会社MCエバテック様 尼崎分析センター 訪問(2022年12月2日)

室内空気環境専門委員会 委員長　松本 康弘(トクラス)

2022年12月2日(金)に、室内空気環境専門委員会は、兵庫県尼崎市の株式会社MCエバテック尼崎分析センターを見学訪問させていただきました。一昨年、つくば分析センターを見学訪問させていただいた際、尼崎分析センターのご紹介があり、今回の訪問のきっかけとなりました。

MCエバテック様全体としては、環境分析業務がメインになるようですが、尼崎分析センターは、関西熱化学株式会社様と同じ敷地内であることから、コークスや活性炭関連の材料分析や、活性炭開発に必要な吸着や細孔分析、におい分析等の受託試験も行っているとのことでした。

今回、私どもが室内空気環境専門委員会のメンバーであることから、ISO規格に準拠したマイクロチャンバー試験や、アスベスト分析を実験室ツアーを交えて紹介していただきました。実験室ツアーでは実際の試験や顕微鏡観察を間近に拝見でき、活発な意見交換をすることができました。

今回の見学によって得た知識を今後の業務に生かしていきたいと思います。コロナ禍の中、見学を快く受け入れていただいたMCエバテック様に改めて心より感謝いたします。

顕微鏡を覗く松本委員長

参加者と分析センター様との集合写真

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

吸い込み口カバーの早期交換完了を目指して！

ジェット噴流バス啓発委員会 委員長　田村 朗(ノーリツ)

当委員会は、2000年12月ジェット噴流バスを使用中の重大製品事故をきっかけに設立したジェット噴流バス協議会を前身とします。

これまで、髪の毛吸着の恐れがある吸い込み口カバーの無料交換、消費生活用製品安全法の技術基準の基となった業界安全基準の制定など、製品安全に対し真摯に取り組んでいました。

経済産業省のリコールハンドブック2019改定により、リコール報告の見直しが提示されたことで、協議会活動の見直しを行い、2022年6月、再出発することになりました。

今後の主な活動は、安全な吸い込み口カバーへの無料交換早期完了ですが、早期100%完了を広く周知するため工業会ホームページの見直しなどに着手しております。会員の皆様にご協力をお願いすることにもなりますがよろしくお願い申し上げます。

ジェット噴流バス協議会解散総会

「台所・お風呂の川柳」下水道展の特別募集に227句

下水道広報プラットホーム　中山 勲

下水道広報プラットホーム（GKP）は、キッチン・バス工業会との連携の一環として、「台所・お風呂の川柳」に協賛しています。

今年8月2日から4日間行われた「下水道展」（東京ビッグサイト）では特別募集カウンターを設置。工業会の方々にお越しいただき、応募の受付や川柳の創作指導などに当たっていただきました。

子どもから大人まで丁寧にご対応いただいたおかげで、4日間で227（159人）の句が集まり、その中から「排水思源－下水道賞」の受賞作が誕生しました（下記）。

「拭きもせず　あぶらを流す　むこうみず」（ほんじょう）

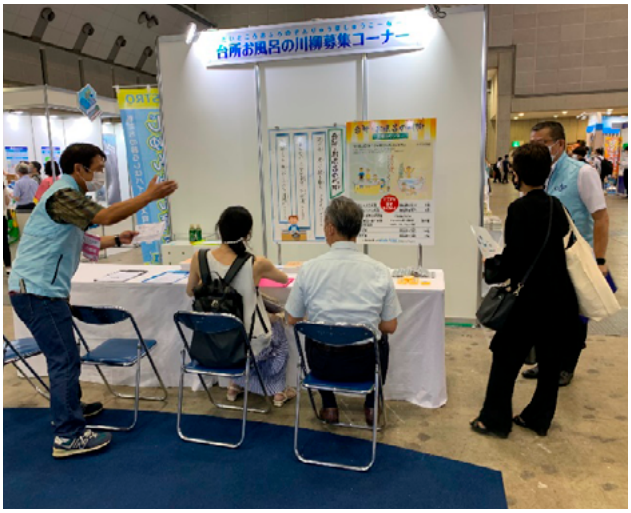
流す先への影響を考えない行為をとがめた句で、むこうみずの「見ず」と「水」をかけたところも秀逸です。

また、その他にも優秀な句が多く、

「あたり前　そうじゃないのよ　水道水」（田沼）

同句は日本バルブ工業会賞を受賞。さらに、優秀賞1句、入選4句が選ばれました。

下水道展の特別募集は今後も続けていきたいと考えています。



下水道展参加者に、台所・お風呂の川柳への応募の呼びかけを行った

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

TOPICS

第18回「台所・お風呂の川柳」選考・表彰風景

—— やはり何事も平和でなくては ——

川柳事業専門委員会 委員長　中山 世一(顧問)

11月2日(水)キッチン・バスの日の行事の一環として恒例の「台所・お風呂の川柳」の表彰式が無事終了しました。

6万句を超える応募作品の中から1次選考、2次選考をくぐり抜け、9月27日の最終選考会を経て見事キッチン・バス大賞を得たのは次の作品でした。

「 **キッチンに ガスも小麦も ある平和** 」(テクノボー)

「川柳は知性」とはよくいわれる言葉ですが、分かりやすい言葉で見事に世相を切り取っているとともに平和に対する願望も込められています。

コロナ禍の事情で受賞者の招待が関東に限られた昨年とは異なり、今年の表彰式は全国から受賞の方々にご参加いただきました。そのため表彰式に参加された受賞者は実に北海道から沖縄にまで広がりました。ある意味、「台所・お風呂の川柳」がこれだけ世の中に知られているということでしょう。

それでも密を避けるため、当工業会関係の方々の参加が一部制限されたことは残念でした。来年こそはコロナ禍も収まり、盛大に式典が行われることが望まれます。

表彰式は清水隆幸当工業会副会長の挨拶から始まり、神田阿久鯉先生の名司会によりキッチン・バス大賞から始まる24の優秀作品の表彰が粛々と行われました。その後、後援をいただいている内閣府から鈴木調査官、経済産業省から原田住宅産業室長、国土交通省から山下住宅生産課長のご挨拶を賜りました。

表彰式の後はお楽しみの落語ですが、今年は桂右團治師匠による「時うどん」が華々しく演じられ、場を盛り上げることができました。

そして過去2年コロナ禍のため中止していた懇親会が、コロナに配慮した形で盛大に執り行われました。

第18回台所・お風呂の川柳出席者の集合写真(撮影時のみマスクを外していただきました)

清水副会長

中山委員長

司会 神田阿久鯉先生

桂右團治師匠

最終選考会風景

落語会風景

懇親会風景

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

TOPICS

ご来賓の皆様から、ご挨拶をいただきました

内閣府
子ども・子育て本部
政策企画調査官
鈴木 永 様

本日は第18回「台所・お風呂の川柳」表彰式が、かくも盛大に行われましたことを心よりお喜び申し上げます。キッチン・バス大賞をはじめ各賞を受賞された皆様、本日は誠におめでとうございました。

今回の優秀作品集の裏表紙にもあるように、内閣府では平成19年度から11月の第3日曜日を家族の日、その前後2週間を家族の週間と定め、子どもや子育て家庭を応援する社会の実現に向けた啓発活動を行っています。そして平成25年よりキッチン・バス工業会においいてこの趣旨に沿った作品を「家族の日・家族の週間賞」として選定していただいております。

今年の受賞作は、元気なお子さんの元気な姿が想像できる微笑ましい作品です。大賞をはじめどの作品も素敵な作品ぞろいで、やはりキッチンとバスは家族の絆を深める大切な場所だと改めて気付かせてくれました。

この大切な家族に改めて思いをはせることができる「台所・お風呂の川柳」という事業を、これからも末永く取り組んでいっていただきたいと思います。

皆様の益々のご活躍を祈念しております。

経済産業省
製造産業局
生活製品課
住宅産業室長
原田 富雄 様

皆様こんにちは。

先ずキッチン・バス工業会の皆様の日頃の品質向上へのご貢献、社会課題や物流課題への対応や住環境整備に資する商品開発等に感謝いたします。

「台所・お風呂の川柳」事業は家族のコミュニケーションの場所としての台所やお風呂の空間での思い出、出来事、願いなどを川柳にすることで、その役割の重要性を改めて認識し、自らの住生活について関心を持っていただくことで、豊かな住生活の訴求につなげようとするものと認識しております。今回も台所やお風呂を中心とした家族との思い出、子どもや孫とのふれあい、絆をテーマとした句など多くの作品があった中から受賞された皆様には心よりお喜び申し上げます。

さて資材やエネルギー価格の高騰、収束しない新型コロナウイルス感染症など社会経済を取り巻く環境はいまだに厳しい状況にありますが、経済産業省としてはしっかりこの状況に対応していく所存です。

そしてこの1年の様々な状況を顧みて一句

「給湯器 はたらく姿に 皆笑顔」

キッチン・バス工業会の発展並びにご参集の皆様のより一層のご健勝を祈念いたします。

国土交通省
住宅局
住宅生産課長
山下 英和 様

第18回「台所・お風呂の川柳」に入選された方々に心よりお祝い申し上げます。

台所やお風呂といった毎日使うところで起きたことや気付かれたこと、また日頃から感じていることが川柳という大変短い言葉に、非常によく凝縮されていると感じました。家族の笑顔や日常風景の描写、忌憚のない心などお聞きしていると、皆なるほどと思うことばかりです。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により自宅で過ごす時間が多くなると、お風呂や台所で気付くことも多くなったといわれ、それらが快適であることが大切ではないかと思います。

人生100年時代といわれるなか、住み慣れた自宅で長く暮らし続けるには、お風呂や台所が安全で快適でなければなりません。そのためには、バリアフリー化して足元の段差をなくすことや、室内での温度差をなくすことも必要です。また、エネルギー価格の高騰により、省エネ節電や家事負担軽減を奨励していくことも大切だと考えます。

国土交通省では、台所やお風呂をはじめとして、快適で安全な住まいに暮らし続けていただくための様々な施策を考えてまいります。

最後に本日ご参加の皆様のますますのご健勝を祈念いたします。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

TOPICS

ご来賓の皆様から、ご挨拶をいただきました

一般財団法人
ベターリビング
理事長
眞鍋 純 様

受賞された皆様おめでとうございます。

日本にガス給湯器が導入されてちょうど50年、この間に安全性や省エネ性、経済性や使いやすさなどが格段に進歩し、今やボタン一つで安心してお湯が出ることが当たり前となりました。そんな中、世界情勢を鑑みますと今年ほどお湯のありがたさ、家族のかけがえのなさ、穏やかな平和の日々の大切さを感じることも無いかと思います。

今回のベターリビング賞は、お風呂に入る時は、熱いお湯に長くつかると命の危険に晒されてしまう可能性もあるので、消費者庁も勧める41℃以下のぬるめのお湯につかることによって健康づくりを目指していただきたい、すなわち、住宅の中で健康づくりを目指すことを進めるという観点から選考いたしました。これからも私たちは、住宅と健康、それによってより良い住まい＝ベターリビングの実現に努めてまいります。本日はおめでとうございました。

ベターリビング賞

「百歳を　めざしてみるか　ぬるめの湯」（青馬）

受賞者のなかから、2名のコメントをご紹介します

（敬称略）

キッチン・バス大賞

「キッチンに　ガスも小麦も　ある平和」（テクノボー）

この度は大賞をいただきありがとうございました。私なりに今回受賞できたのは、最近自宅をリフォームしましたのでキッチン・バス工業会の各企業に多大なる貢献をしたからではないかと考えております（笑）。

そしてこの句には、小さな平和への願いとともに小麦やガスなどの物価高騰で生活に影響が出てきているので、ぜひキッチン・バス工業会の皆様には、これ以上の価格高騰を阻止すべく働きかけ、努力していただきたいという願いも込めて作りました。

日本琺瑯工業会賞

「琺瑯が　スープ冷めない　距離伸ばす」（ハルル）

11月2日はキッチン・バスの日。記念日に開催された「台所・お風呂の川柳」表彰式に参加してきました。なんと６万以上の川柳応募数とか。台所もお風呂も家庭の中心部なので川柳の題材に事欠きません。発表された川柳は皆渾身の傑作揃いで、作者の思い入れが伝わってきました。

厳粛な中にも和気あいあいの表彰式、その後に桂右團治師匠の落語が上演されました。生で落語を聞くも初めてで、芸の深さが心に染み入りました。懇親会では受賞者や、各部門関係者とも歓談しきりで有意義な時を過ごせました。

わずか17文字の川柳ですが、いろいろな世界を見せてくれるものだと感じています。このような晴れ舞台に立たせていただき感謝に絶えません。ありがとうございます。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

統計情報

2022年度上期　自主出荷統計

調査統計委員会 委員長　垣田 賢(LIXIL)

2022年度上期は、出荷動向先行指標である新設住宅着工戸数は、前年比99.4%とわずかながら前年割れ。

システムキッチンの22年度上期は、前年比103.5%と前年超え、一方セクショナルキッチンは91.8%と対照的な動きとなりました。

洗面化粧台は前年比99.0%とわずかながら前年割れ。

システムバスは、上期計で101.9%と前年超えとなりましたが、単体浴槽は93.2%と減少傾向が続いています。

各商品とも、ほぼ新設着工の動きに沿った状況となっており、今後も出荷動向の変化を情報共有してまいります。

■ 新設住宅着工戸数

(単位:戸)

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	69,568	63,839	71,101	70,244	69,101	70,186	414,039	70,685	70,798	65,643	58,448	60,764	71,787	398,125	812,164
2021年度	74,521	70,178	76,312	77,182	74,303	73,178	445,674	78,004	73,414	68,393	59,690	64,614	76,120	420,235	865,909
2022年度	76,295	67,223	74,617	73,024	77,731	74,004	442,894	76,590						76,590	519,484
前年比	102.4%	95.8%	97.8%	94.6%	104.6%	101.1%	99.4%	98.2%							99.2%

4-10月累計、以下同様

■ システムキッチン(完成品+トップ)

(単位:台)

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	89,077	80,757	101,055	101,255	85,570	100,584	558,298	104,946	104,748	108,278	90,503	106,918	109,997	625,390	1,183,688
2021年度	93,728	85,201	100,592	101,036	89,917	103,730	574,204	103,760	113,358	111,611	88,982	103,160	112,868	633,739	1,207,943
2022年度	95,883	91,623	103,336	101,923	95,505	106,164	594,434	104,176						104,176	698,610
前年比	102.3%	107.5%	102.7%	100.9%	106.2%	102.3%	103.5%	100.4%							103.0%

■ セクショナルキッチン(完成品+トップ)

(単位:台)

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	32,048	27,316	31,482	35,081	29,816	31,895	187,638	36,536	33,663	32,380	29,359	34,794	37,557	204,289	391,927
2021年度	32,624	27,264	33,094	32,016	29,004	32,184	186,186	33,139	32,002	30,371	28,770	32,281	35,548	192,111	378,297
2022年度	30,923	28,655	28,929	28,098	25,701	28,585	170,891	27,403						27,403	198,294
前年比	94.8%	105.1%	87.4%	87.8%	88.6%	88.8%	91.8%	82.7%							90.4%

■ 洗面化粧台

(単位:台)

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	127,662	110,208	138,831	146,324	122,409	140,262	785,696	151,322	149,841	155,274	135,290	150,867	159,960	902,554	1,688,250
2021年度	141,923	124,061	144,694	143,328	128,289	149,353	831,648	149,370	160,073	158,044	136,502	147,930	158,627	910,546	1,742,194
2022年度	137,889	127,236	142,801	136,836	131,293	147,509	823,564	145,713						145,713	969,277
前年比	97.2%	102.6%	98.7%	95.5%	102.3%	98.8%	99.0%	97.6%							98.8%

■ システムバス

(単位:台)

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	102,425	90,184	108,463	109,515	96,654	109,651	616,892	124,061	118,585	118,861	101,056	104,949	113,618	681,130	1,298,022
2021年度	109,146	101,586	114,520	114,414	99,207	112,598	651,471	122,892	122,699	119,301	101,242	105,905	112,130	684,169	1,335,640
2022年度	110,649	99,061	116,000	118,829	105,114	114,451	664,104	122,963						122,963	787,067
前年比	101.4%	97.5%	101.3%	103.9%	106.0%	101.6%	101.9%	100.1%							101.6%

■ 単体浴槽

(単位:台)

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期計	年度計
2020年度	9,425	8,377	9,707	9,795	8,198	9,631	55,133	11,690	10,216	9,593	9,407	10,352	10,581	61,839	116,972
2021年度	9,789	8,848	9,876	9,586	8,683	9,377	56,159	10,135	10,146	9,095	8,028	8,902	9,437	55,743	111,902
2022年度	8,796	8,526	9,365	8,710	7,942	8,975	52,314	9,383						9,383	61,697
前年比	89.9%	96.4%	94.8%	90.9%	91.5%	95.7%	93.2%	92.6%							93.1%

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

会員情報

都市対抗、社会人野球大会に会員企業が出場！

2022年7月18日から、東京ドームで開催された第93回都市対抗野球大会に、キッチン・バス工業会の会員企業である、東京ガス様、大阪ガス様、東邦ガス様が出場されました。東京ガス様は、7月29日の決勝にて、エネオス様と対戦。接戦でしたが、4-5で惜しくも準優勝でした。

また、10月30日から、京セラドーム大阪では第47回社会人野球日本選手権が開催。東京ガス様、大阪ガス様、西部ガス様が出場されました。次回は優勝を期待しております。

行政イベント

「住生活月間中央イベント／住まいフェスin北海道」参加

広報専門委員会 佐藤 哲（トクラス）／大崎 和美（東京ガス）

10月15日（土）、当工業会も協賛して北海道札幌市で執り行われました第34回「住生活月間中央イベント／住まいフェスin北海道」（後援：国土交通省ほか）に参加してまいりました。

「夫婦にも環境にも優しい住み心地のよい家～ゼロカーボンを実現するあったか健康省エネ住宅」をテーマに、展示も2会場で行われる4年ぶりのリアル開催となりました。

当日は曇天の朝となり、天気予報においては開催時刻に一部雨が降るとあり、屋外会場「アカプラ」でのオープニングセレモニーが心配されましたが、天気が持ち直し高円宮妃殿下のテープカットも滞りなく行われ無事イベントが始まりました。開催セレモニー終了後高円宮妃殿下は、札幌駅前地下空間「チ・カ・ホ」の展示会場に移動され幾つかのブースにおいて熱心に説明を聞いておられました。我々取材班もその後を追いながら各ブース展示を見学し、その中に（一社）日本ガス協会様のご厚意で展示していただいた第18回「台所・お風呂の川柳」入賞作品のパネルも確認することができました。このような大きな商業空間における展示は一般に広く知らしめることができ、より多くの方に足を止めていただくことができるので川柳事業の告知にも大いに効果的だと思われます。

その後、場所を移して合同記念式典が行われこちらも高円宮妃殿下ご臨席のもと住宅産業の発展に貢献された方々と各コンクールに入賞された方々の表彰が行われました。

来場者も多く賑やかなイベントとなりました。

高円宮妃殿下ご臨席のテープカット

ブースに展示いただいた第18回川柳入賞作品

（一社）日本ガス協会 早川専務理事（左）と越道常務理事（右）

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

団体会員情報

第11回「住宅部品点検の日」シンポジウムを開催（10月4日）

テーマ：点検から消費者が快適なリフォームへ～健康的な暮らしを目指して～

一般社団法人 リビングアメニティ協会 事務局長 山田 聡

リビングアメニティ協会（以下「ALIA」）は、第11回となる「住宅部品点検の日」シンポジウムをオンライン配信で開催しました。

ALIA 加藤専務理事の開会挨拶、国土交通省 住宅生産課 山下英和課長のご来賓挨拶の後、基調講演は、ルームクリップ㈱ 代表取締役CEO 髙重正彦氏より、「点検」を文化にするための道筋――点検をきっかけとしたリフォームの可能性――の講演をいただきました。

パネルディスカッションは明治大学 名誉教授 向殿政男氏をコーディネーターに迎え、髙重氏に加え、㈲メイクアップ 代表取締役社長 荒口仁氏、（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 理事 村上千里氏、ALIA 住宅部品点検推進部会長 近藤秀介の計4名で「消費者の本音」「点検を文化にする仕掛けとは？」「SNSの果たす役割」などの論点で活発な意見交換が行われました。

最後に向殿氏が「点検普及には、不利益等をゼロにすることに加え、健康やサステイナビリティーに繋がるプラス面があることの周知が必要。SNSでのコミュニティーづくりや、点検を消費者に親しみやすい言葉に変えていく等の仕掛けで、点検を楽しく習慣化し、多くの消費者に広げることで最終的に文化として根付くのではないか」とまとめていただきました。

写真左から、
■コーディネーター／向殿 政男 氏
■パネリスト／村上 千里 氏
■講演とパネリスト／髙重 正彦 氏
■パネリスト／荒口 仁 氏
■パネリスト／近藤 秀介 氏

「暮らしの未来シンポジウム2022」開催

一般社団法人 日本ガス協会 椙江 邦弘

ウィズガスCLUBは、10月17日（月）に「暮らしの未来シンポジウム2022」を開催いたしました。今回は「Our Future～これからの暮らしと住まい、その先へ～」を副題とし、リアルとオンラインのハイブリッド開催にて実施いたしました。

基調講演にはアスタミューゼ株式会社の川口伸明様にご登壇いただき、『Beyond SDGs:2060年の暮らしや住まい、エネルギーはどうなるか？』～ビッグデータ解析から見えてくる社会課題解決ファーストの未来戦略～というテーマで講演していただきました。

パネルディスカッションでは『求められる暮らしと住まいとは』～省エネ対策等の強化を見据えたこれからの住生活～をテーマに、足元の住宅の省エネに関する規制強化を踏まえたこれからの暮らしと住まいについて、4名の有識者がそれぞれの専門的な立場から見解を述べ意見交換を行いました。当日はリアル、オンライン合わせて約400名の方にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。

川口伸明様による基調講演

パネルディスカッションの様子

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

行政情報

各種行政情報については、これまでも会員の皆様には総括責任者様を通じて、都度情報発信させていただいており、特に重要な内容に関しては、各委員会での活動内容とともに、K・B通信でもご紹介しております。K・B通信では、過去半年の行政関連情報について、ご紹介しきれていない内容も含め、皆様に改て整理してお知らせします。

令和4年11月8日 国土交通省 住宅局 住宅生産課

住宅の省エネ化への支援強化に関する予算案を閣議決定！「こどもエコすまい支援事業」を創設！

https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001520963.pdf

～省エネ住宅の新築、住宅の省エネリフォームを支援する「こどもエコすまい支援事業」を創設し、省エネリフォーム支援を経済産業省・環境省と連携して実施～

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて住宅の省エネ化の支援を強化するため、国土交通省は、高い省エネ性能（ZEHレベル）を有する住宅の新築を支援する新たな補助制度を創設します。また、国土交通省、経済産業省及び環境省は、住宅の省エネリフォーム等に関する新たな補助制度をそれぞれ創設するとともに、各事業をワンストップで利用可能とするなど連携して支援を行います。

◆こどもエコすまい支援事業の詳細◆

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000215.html

年月日	関係省庁など	内容関連リンク先　掲載対象期間：2022年6月1日～2022年11月30日
2022年11月28日	国土交通省	こどもみらい住宅支援事業において、予算上限に対する交付申請額（予約含む）の割合が100%になりましたので申請の受付を終了しました https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001129.html
2022年11月18日	国土交通省	こどもみらい住宅支援事業において、予算上限に対する交付申請額（予約含む）の割合が75%を超えました https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001126.html
2022年11月 8日	国土交通省	住宅の省エネ化への支援強化に関する予算案を閣議決定！　国交省・経産省・環境省が連携して取り組みます！ ～省エネ住宅の新築、住宅の省エネリフォームを支援する「こどもエコすまい支援事業」を創設し、省エネリフォーム支援を経済産業省・環境省と連携して実施～ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001119.html
2022年11月 8日	経済産業省	住宅の省エネ化の支援強化に関する予算案が閣議決定されました ～新たな住宅の省エネ化支援制度案の概要～ https://www.meti.go.jp/press/2022/11/20221108001/20221108001.html
2022年11月 8日	環境省	環境省・経済産業省・国土交通省の連携による住宅の省エネ化の支援強化について https://www.env.go.jp/press/press_00774.html
2022年10月26日	環境省	「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」及び官民連携協議会を新たに立ち上げました https://www.env.go.jp/press/press_00736.html
2022年10月14日	国土交通省	建築物のバリアフリーに関するガイドラインの今後の方向性について議論します！ ～第3回「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準に関するフォローアップ会議」の開催～ https://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000939.html

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

2022年10月14日	経済産業省	断熱材（グラスウール及び押出法ポリスチレンフォーム）の新たな省エネ基準を取りまとめました https://www.meti.go.jp/press/2022/10/20221014002/20221014002.html 建築材料等判断基準ワーキンググループ https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene_shinene/sho_energy/kenchiku_zairyo/index.html
2022年 9月27日	国土交通省	こどもみらい住宅支援事業の実施状況についてお知らせします（令和4年8月末時点） https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001115.html
2022年 8月24日	国土交通省	こどもみらい住宅支援事業の実施状況についてお知らせします（令和4年7月末時点） https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001107.html
2022年 7月29日	国土交通省	こどもみらい住宅支援事業の実施状況についてお知らせします（令和4年6月末時点） https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001099.html
2022年 7月15日	国土交通省	令和4年10月1日に見直し予定の長期優良住宅の認定制度について説明します！ ～WEB動画配信する形式で説明～ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001097.html
2022年 7月 5日	国土交通省	脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ基準の見直しについて議論します ～国土交通省・経済産業省の2省合同会議を開催～ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001096.html
2022年 7月 4日	国土交通省	改正建築物省エネ法・建築基準法等に関する説明動画（第1弾）を配信 ～7月22日（金）より国土交通省ホームページで配信～ https://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000929.html
2022年 6月23日	国土交通省	脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ基準の見直しについて議論します ～国土交通省・経済産業省の2省合同会議を開催～ https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001091.html
2022年 6月22日	国土交通省	脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律（令和4年法律第69号）について https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk_000163.html
2022年 6月20日	経済産業省	経産省 2030年の住宅の省エネルギー性能の向上に向けて窓の性能表示制度を見直します！ https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220620001/20220620001.html

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

インボイス制度（適格請求書等保存方式）の概要

国税庁軽減税率・インボイス制度対応室

1 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の概要

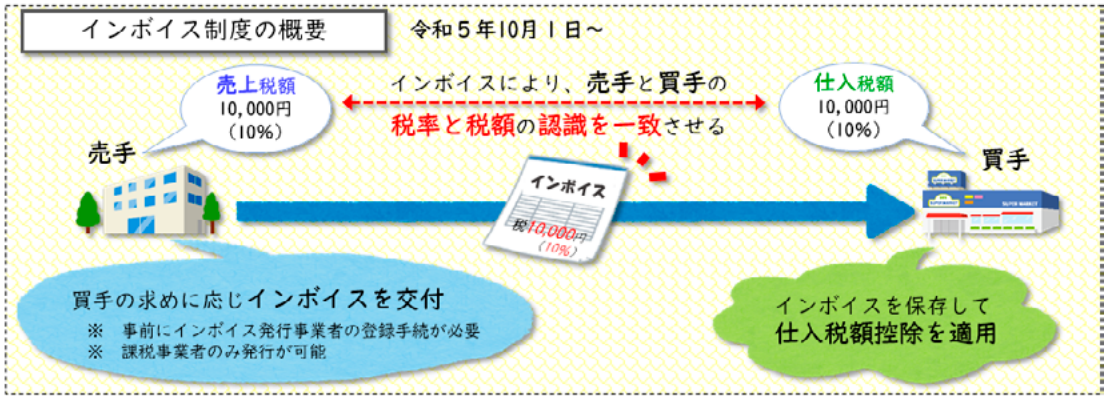
⑴ 導入の経緯等

令和5年10月1日から消費税のインボイス制度が開始されます。インボイス制度は、複数税率に対応した仕入税額控除の方式であり、売手が買手に対して正確な適用税率や消費税額等を伝えるために導入されるものです。

インボイス制度の導入に当たっては、消費税率の引上げに伴う軽減税率制度への対応が必要であることが考慮され、軽減税率制度開始から4年間の準備期間が設けられました。

インボイス制度においては、売手は、買手に対して正確な適用税率や消費税額等を伝えるための手段としてインボイスを交付し、買手はインボイスを保存して仕入税額控除の適用受けることになります。（図1）

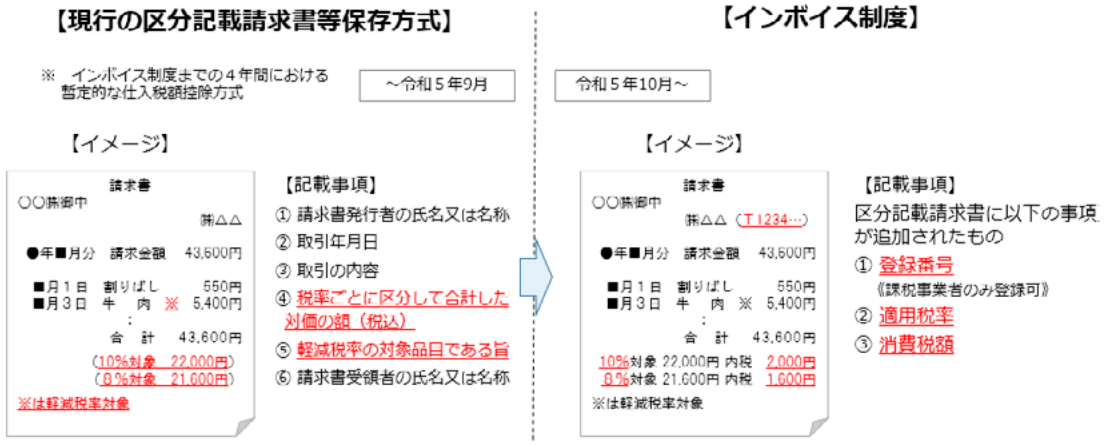
（図1）



⑵ 現行の仕組みからの変更点

インボイス制度では、これまでの請求書等に記載事項を追加していただく必要があります。具体的には、現行の「区分記載請求書」の記載事項に加えて、「登録番号」、「適用税率」、「税率ごとに区分した消費税額」を追加することとなり（図2）、必ずしも新しくインボイスという書類を一から作成しなければならないわけではありません。

（図2）区分記載請求書とインボイスの記載事項



2 インボイス制度に対応するための検討事項・事前準備等

⑴ インボイス発行事業者となるかどうかの判断

インボイス発行事業者となるかは事業者の任意であるため、以下の点から登録を受けるか検討することとなります。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

① 売上先がインボイスを必要とするか

課税事業者は仕入税額控除のためにインボイスを必要としますが、例えば、消費者、免税事業者や、課税事業者であっても簡易課税制度を選択している事業者は、仕入税額控除のためにインボイスを必要としません。

② 申告に係る事務負担の検討

インボイス発行事業者となると、基準期間における課税売上高が1,000万円以下となっても、免税事業者とはならず、課税事業者として申告が必要となります。

なお、簡易課税制度を選択することにより、申告に係る事務負担を軽減することが可能です。

⑵ 登録申請手続

インボイス発行事業者の登録を受けようとする事業者（登録を受けることができるのは、課税事業者に限ります。）は、納税地を所轄する税務署長に登録申請書を提出する必要があります。登録申請書は、e-Tax又は郵送により提出することができます。

制度が始まる令和5年10月1日から登録を受けるためには、原則として、その半年前の令和5年3月31日までに登録申請書を提出する必要がありますが、期限間際は混み合うことが予想されますので、登録をお考えの方は早めの申請をお願いいたします。

3 売手の留意点

⑴ インボイス発行事業者の義務

インボイス発行事業者には以下の義務が課されます。

① インボイスの交付

取引の相手方（課税事業者に限ります。）の求めに応じて、インボイスを交付（データでの提供可能です。）

② 写しの保存

交付したインボイスの写しを保存

⑵ 留意点

インボイス発行事業者となった場合に準備や検討が必要になると考えられる事項は主に以下のとおりです。

① 何をインボイスとするか

取引ごとにどのような書類を交付しているか確認し、どのように見直せばインボイスの記載要件を満たせるか。システム改修等も含めて検討。

② 取引先との認識共有

必要に応じ、取引先への登録番号の通知や、インボイスとした書類、交付方法等の認識共有。

③ 取引価格の見直し

免税事業者の方がインボイス発行事業者となった場合、消費税を加味した価格の設定、取引金額の見直し。

（※）インボイス制度を契機とした取引条件の見直しについて、独占禁止法などで問題となる行為などの考え方について、「免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関するQ&A」で御紹介しています。（詳しくは公正取引委員会ホームページ参照）

公正取引委員会
ホームページ

4 買手の留意点

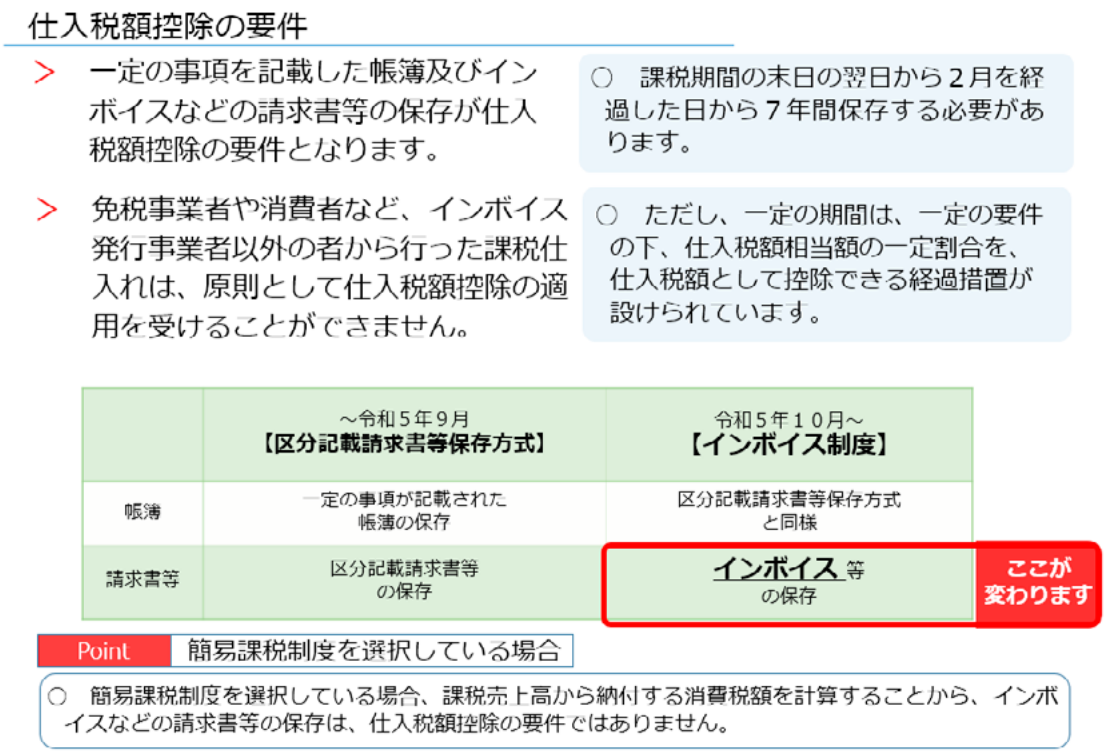
継続的な取引については、仕入先がインボイス発行事業者の登録を受けるか事前に確認し、何をインボイスとするかについて、仕入先との間で認識を統一しておくことが考えられます。

また、免税事業者や消費者など、インボイス発行事業者以外の者から行った課税仕入れは、原則として仕入税額控除の適用を受けることができず（制度開始後6年間の経過措置があります。「5 免税事業者との取引」参照。）、仕入税額控除の適用を受けるためには、一定の事項が記載された帳簿とインボイスの保存が必要となります。

なお、簡易課税制度を適用する場合、仕入税額控除のためにインボイスの保存は不要です。（図3）

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

（図3）仕入税額控除の要件

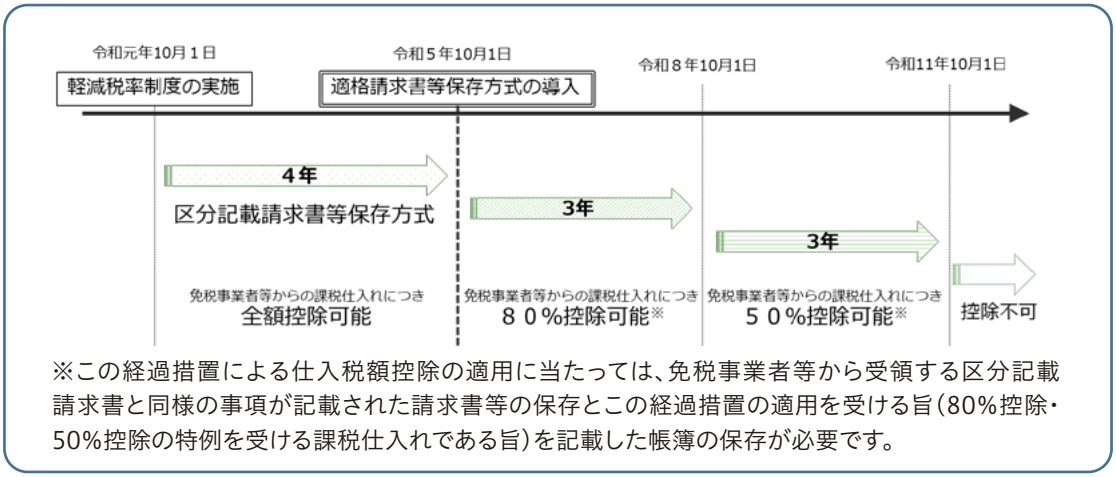


5 免税事業者との取引

インボイス制度の下では、消費者や免税事業者又は登録を受けていない課税事業者といったインボイス発行事業者以外の者からの課税仕入れについては、仕入税額控除のために保存が必要な請求書等の交付を受けることができないことから、原則、仕入税額控除を行うことができません。

ただし、インボイス制度開始から一定期間は、インボイス発行事業者以外の者からの課税仕入れであっても、仕入税額相当額の一定割合を仕入税額とみなして控除できる経過措置が設けられています。（図4）

（図4）仕入税額控除の要件



※この経過措置による仕入税額控除の適用に当たっては、免税事業者等から受領する区分記載請求書と同様の事項が記載された請求書等の保存とこの経過措置の適用を受ける旨（80%控除・50%控除の特例を受ける課税仕入れである旨）を記載した帳簿の保存が必要です。

（インボイス制度特設サイト・相談窓口）

国税庁ホームページのインボイス制度特設サイトでは、① インボイス制度に関する税務相談チャットボット、② 説明会の開催案内、③ インボイス制度について解説した動画（国税庁動画チャンネル）、④ インボイス制度に関する取扱通達やQ&A、などを随時掲載しています。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

VOICE

パワハラ撲滅のきっかけとなる人的資本への投資の動き

弁護士 秋野 卓生（弁護士法人匠総合法律事務所）

1 先行き不透明なVUCA※時代

住宅紛争の法律相談で比較的多い相談類型として、「退職した元社員が勝手に客先と約束したサービス工事を実施する必要があるか？」というものがあります。この手の法律問題を数多く取り扱っていると、退職社員はミスを上司に報告できず、自分で何とか処理しようとして失敗をし、上司に無断でサービスの提案をしているケースが大半であることに気が付きます。「どうして上司に報告できなかったのだろう？」と更にヒアリングを進めると、そこに君臨するのが「パワハラ」です。この「パワハラ」は、上司に厳しく育てられた50代から60代の層に深く染みこんでおり、私もパワハラ研修の機会に「パワハラは、ダメだよ」と解説しているのですが、なかなか是正されないやっかいなハラスメントです。しかし、このパワハラ撲滅のきっかけとなりそうな動きが投資家の間で生まれてきました。今回は、この人的資本への投資の動きについて解説します。先行き不透明なVUCA時代には、従業員の個の力を生かした経営がますます求められるようになります。近年では投資家も「人的資本経営」というキーワードのもと、それらに注目しています。「人的資本経営」は、これからの経営を支える中心的な概念となってきています。

2 人的資本とは

人的資本とは、企業を構成する「人材」を、投資によって価値を創造することができる「資本」と捉えた概念のことをいいます。人的資本は、企業価値を評価する有形資産（工場や設備投資）と無形資産（研究開発やアイディア、ブランド価値、サプライチェーンなど）のうち、無形資産の時価総額の状態を示す一つの項目となっています。教育や訓練、経験により蓄積された知識や技能は労働生産性向上に寄与するため、人材は資本であり投資の対象となるというのが、人的資本の考え方です。従来の概念である、人材を「資源」と捉えて管理する「人的資源」とは相反する考え方といえます。

3 ESG投資の指標となっているISO30414

昨今主流となっているESG投資のなかでも、とくにS（社会）とG（ガバナンス）と関連性が高い項目に関する取り組み状況を開示するよう、世界各国で義務付けられるようになりました。その指標となっているのが、2018年にISOが公表したISO30414で、「情報開示のガイドライン」として人的資本に関する11領域と58指標を定めています。これらのなかには、ハラスメントなどのコンプライアンス問題のリスクの有無も含まれています。

4 人材版伊藤レポート

経産省が人的資本経営に関する調査や検討会などを実施しており、2020年度に公表された「人材版伊藤レポート」には「人材は『管理』の対象ではなく、その価値が伸び縮みする『資本』なのである。企業側が適切な機会や環境を提供すれば人材価値は上昇し、放置すれば価値が縮減してしまう。人材の潜在力を見いだし、活かし、育成することが、今まさに求められている」と記されています。投資家は短期的なIR情報よりも、長期的に「人」を大切にする企業かどうかを見極める時代になりました。人材育成を経営の中核に据え、長期的な視点をもって育成することは、企業の存続を担保することになるのです。

5 人権デューデリジェンスの視点

SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みでも、サプライチェーンにおける人権問題は人権デューデリジェンスの視点で厳しくチェックされるようになりました。世界中の企業が「人」を大切にする経営を実践し始めたら、セクハラやパワハラなどの人権問題が起こるような企業は資金も人も集まらず、やがて淘汰されてしまうでしょう。

6 人的資本経営は、「謙虚なリーダーシップ」の実践が出発点

人材育成は、通常業務の場面に織り込まれてこそ効果を発揮します。うまくいかない作業の改善策を発案させて任せたり、失敗したときに責め立てるのではなく、再発防止策を共に考えたり、うまくできたら喜びを共有し褒めたりすることこそが人材育成といえます。「謙虚なリーダーシップ」の実践はハラスメントを予防し、育成にも役に立ちます。これらを日々実践、継続していくことが、人的資本経営につながるのです。

7 SDGsの基本は「持続可能」であること

経営陣が短期的な売上目標や財務諸表の推移ばかりに目を向け、目先の売上ダウンを挽回することばかりを重要視し、視野が狭くなると、無理な目標設定を強いて部下の尊厳を傷付けるような言動をしてしまうことが起こり得ます。SDGsの基本は「持続可能」であることであり、これからの時代は、事業の拡大や設備投資よりも、従業員一人ひとりに合わせた目標設定と人材育成の実践こそが、企業経営の中核をなす時代になろうとしているのです。人的資本への投資の動きは、企業が真剣にパワハラ撲滅を果たさなければならない良い契機であるといえ、私も非常に注目しています。

※VUCA時代とは、変動が激しく不確実な未来や、予測できないような複雑な問題、解決策が曖昧で正解が1つとは限らない状況など、目まぐるしくかたちを変える現代社会を示した言葉です。Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を並べたもの。wikipediaより。

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

事務局

お知らせ

常務理事　越道 昭徳

新型コロナウイルス感染症の第8波で混迷するなか、withコロナも日本社会に徐々に浸透し、約3年ぶりとなる京都での全員懇談会が9月に開催されました。リアル＋Webによるハイブリッド形式での開催ではありましたが、久々の京都での開催とあって、約2/3の会員の皆様がリアルで会場にお集まりいただき、懇親パーティ、翌日の城陽カントリーでの懇親ゴルフと、コロナ以前の活気が少しずつではありますが、確実に戻りつつあることを肌で感じることができました。

また先月は、2022年『キッチン・バスの日記念式典』を昨年より枠を広げ、開催することができ、受賞者の皆様も笑顔でご参集いただきました。

この調子で、年明けの賀詞交歓会も開催できることを切に望むばかりです。

さて、今回お伝えする『事務局から』は、連載になりつつある「変わりゆく浜松町」企画の第4段として、50年の歴史に幕を閉じた「世界貿易センタービル」の解体進捗の概況をお伝えします。

変わりゆく街、浜松町 with 世界貿易センタービル編

■新工法で工期短縮!!

1967年に建設された世界貿易センタービルは、当時東洋一の高さを誇るビルとして時代の象徴となりました。それから約半世紀、都心のサラリーマンや羽田空港へのモノレールの玄関口として旅行者を見守ってきた同ビルも老朽化にはあらがえず、2021年3月末日をもってその役割を終えました。

新たなビルに生まれ変わるための解体撤去については、人通りの多い都心の一角での高層ビル解体という難しい作業ですが、本工事を請け負うゼネコンの画期的な解体工法により、日々着実にその姿が低く、そして小さくなっています。

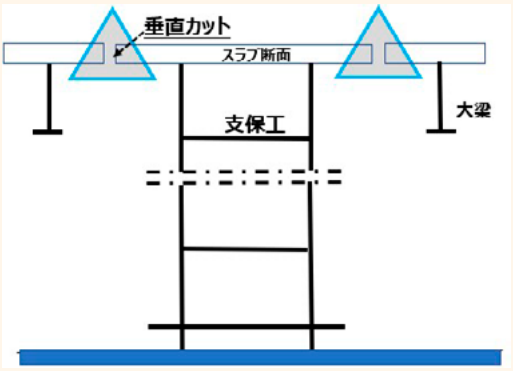
画期的な解体工法とは、簡単にいうと床を斜めに切断する工法で、支保工※が不要で、周囲の床にカットした床面が支えられるため床が落ちず、カットした床材は建物中央部の開口からタワークレーンで地上に下ろし、地上の重機で破砕処理します。

2500㎡の1フロアの解体を5日間で完了。この画期的な工法で大幅な工期の短縮を可能としました。

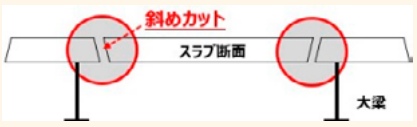
2021年8月に着手した解体工事も、2023年3月には完了する予定で、工事は順調に進んでいます。

新たなビルの完成予定が2026年度、東京モノレールの浜松町新駅舎の完成が2029年度。その頃には現在当工業会に携わっている皆様も様変わりしていることと思いますが、新たな浜松町で皆様と再会し、昔を懐かしみながら一献傾けられればなどと、一人思いはせております。

従来の解体工法



今回実施されている工法



※支保工とは、建築物で上または横からの荷重を支えるための仮設構造物

2022年8月現在

9月末現在

10月末現在

2022年11月末現在

写真提供
松本委員

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る

No.24 編集委員

発行責任者：中島 宏文（タカラスタンダード）
編　集　長：柴崎 和彦（クリナップ）
編 集 委 員：石井 博之（渡辺製作所）
大崎 和美（東京ガス）
神谷 剛志（ナスラック）
佐藤 哲（トクラス）
高橋 絵里（三菱ケミカル・クリンスイ）
長瀬 秀明（ノーリツ）
野村 泰之（LIXIL）
藤野 豪洋（積水ホームテクノ）
松本 賢治（TOTO）
三好 百合（パナソニック ハウジングソリューションズ）
越道 昭徳（事務局）
田中 朋子（事務局）

宇治橋を　渡れば鶏の　日向ぼこ　朋子

編集後記

2020年から新型コロナウイルス感染症が蔓延し、ビジネスのやり方が大きく変わる中で、今年は中国のロックダウンやロシアのウクライナ侵攻などによる影響により、資材の調達不安と原材料高騰が、住宅設備業界に大きな事業課題を発生させました。資材の調達に関してはお客様からのご希望納期に応えられず、また原材料高騰は収益に大きく影響するので、対応に苦慮されている方も多いかと思います。

現在は私たちの想定外のことが多く発生するので、不確実性の高い時代といわれていますが、どの時代も先行き不透明であるのは当たり前のこととして、このような環境の変化でも、これらを事業機会として前向きにアイデアを出して取り組んでいる会社や人々もいます。

ちょうどこの記事を記載している時に、サッカーワールドカップが開催され、日本が強豪国相手に勝利しています。ひと昔前には考えられなかったことで、今どきの若者は素晴らしいと思うとともに、ここまでつくり上げてきたサッカー界全体の功績と思います。住宅設備業界も人々の暮らし方を変えるイノベーションを起こし、振り返った時に大きく前進したと思えることができればと思います。

広報専門委員会 副委員長　藤野 豪洋（積水ホームテクノ）

JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH
キッチン・バス工業会

工業会のホームページは情報の宝庫です！

キッチン・バス　検索

https://www.kitchen-bath.jp/

発　行　日：2022年12月20日
発行責任者：広報専門委員会 委員長　中島 宏文

『K・B通信』に関するお問い合わせは下記Eメールへお願いします。
E メ ー ル：kitchen.bath@nifty.com

Copyright © JAPAN ASSOCIATION OF KITCHEN & BATH 2022
表紙へ戻る